

nouvelle Fontaine

発行日 2023年4月25日

発行 岸和田文化事業協会

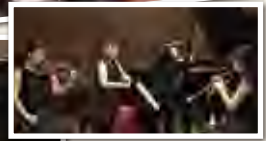
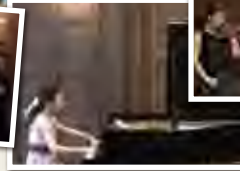
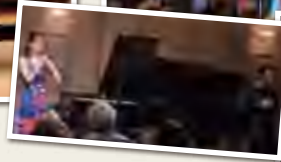
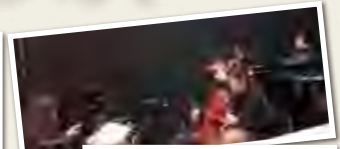
〒596-0073 岸和田市岸城町5-10
岸和田市立自泉会館内

TEL/FAX 072-437-3801

Email: fontaine@sensyu.ne.jp

https://jisen.jp

自泉アーティストバンクが、 進化します



Music Art 'nd Theater Association

皆さん「自泉アーティストバンク」というワードを見たり聞いたりしたことはありますか？ふぉんでーぬ69号の1面でも自泉アーティストバンクについて掲載し、折に触れご紹介してきました。登録者によるコンサートにご来場いただいた方もいらっしゃることでしょ。

その「自泉アーティストバンク」を、今回ステップアップさせることになりました。

■平成18年「自泉フレッシュコンサート」誕生

平成18年より続けてきた「自泉フレッシュコンサート」は、音楽を学びプロフェッショナルとして歩み始める新人演奏家に、演奏の場と技術を磨く機会の提供を目的としています。その意図は今も変わらず、本年4月21日開催のコンサートで70回を迎えました。

なかなか画期的だと始めた事業でしたが、皆さんご存じの通り、演奏家を生業に出来る人はほんの一握りです。この演奏家たちは今後どのような道を歩むのか。音楽が、演奏することが大好きなのだからもちろんプロの道へと考えているはず。厳しい世界に向かって夢を持ち歩んでいる姿を見ているうちに、もっと私たちにできることはないかと考えるようになりました。

■令和元年「自泉アーティストバンク」の誕生

そこで当協会の事業への参加や、演奏者を探している方々への紹介など、仕事につながる援助ができるような登録の仕組みに加え、経験の浅い若手演奏

家（演奏家を目指す音楽大学学生・大学卒業から間もない方・留学から帰国した方等）のために、ステップアップを目指す研鑽の場所を提供することに重きを置いたアーティストバンクを作りました。

■令和5年「自泉アーティストバンク」の ステップアップ

設立から3年を経た今、よりお役に立てることができればと一歩踏み込んだ形へシステムを変化させることとなりました。

◆登録者全員を対象とし、年に2回のフェスティバルを開催。

春は前年度までに登録をしている演奏家、秋は初めて登録をした演奏家、それぞれを中心にしたコンサートを開く。

（企画段階から演奏者が考える。令和5年度秋より導入する予定）

◆年2回のフェスティバルとは別に、当協会の企画コンサートに適した方に出演を依頼する。

（自泉アーティストバンクの登録については、無期限なので随時依頼することがあります）

このような今までは少し違うルールを組み込み、令和5年度より新しい自泉アーティストバンクが動き出します。

若い演奏家の夢を支えることができるよう、当協会も尽力してまいります。

皆さんも応援お願いいたします。

※自泉アーティストバンクに登録するには、自泉フレッシュコンサートに出演することが必須です。

学校給食をふりかえって ～食は健康の源～

全国学校調理師連合会
名誉会長

山中 弓子

岸和田市教育委員会学校給食調理員として昭和51年4月に採用され、定年退職して早や12年経ちました。

「いただきます」「ごちそうさま」子どもたちの元気な声と「きれいに食べてくれてありがとう」毎日交わされる給食室での会話です。子どもたちの「おいしかったよ!」という声がうれしくて、又明日もおいしく作るからねって!

ある日教育委員会より「全国学校調理師研究大会」が開催されるので出席してくださいとのことで、東京へ行きました。そこで「専門調理師、調理技能士」という国家資格の存在を知り、すぐに資格を取得し、その後厚生労働省から試験官として任命を受け20数年間務めることとなりました。

子どもの命を預かる給食調理員は、しっかり安全衛生の意識をもち、子どもたちが安心できるおいしい給食を提供しなくては!と感じました。そこですぐに栄養士さん仲間の調理員に声をかけ資質・技術・知識向上の為、資格受験をすすめました。そして栄養士さんの協力のもと在職中に約半数の調理員が国家資格を取得することが出来ました。

次は保護者の方々に、安全安心で栄養面でも満たされているすばらしい学校給食であることを理解して頂くため、給食レシピの調理実習を実施しました。保護者の方の「こんなに気を付けて給食を作ってくれてありがとう!」という言葉に励まされたものです。

定年後は「本物の味を伝えたい!!」という思いで、四季折々の新鮮な農作物、伝統野菜を使用した農家カフェ「旬菜工房遊味」を開店しました。「泉州の食文化」が愛され、親しまれ、また「食」を通じて心豊かに楽しく生き生きと過ごせるように、お手伝いできればと日々キッチンに立っています。



○調理師

○(公益社団法人)日本調理師会参事、大阪調理師会副会長

○調理技術技能評価試験(厚労省)地方・中央試験委員

○調理技術指導員(厚生省)

○栄養と料理インストラクター2級

○日本女子栄養大学、通信教育家庭料理検定3級

○食育インストラクター(プライマリー)キッズインストラクター

○専門調理食育推進指導員(厚労省)

○奈良調理短期大学、介護士1級

○健康管理士一般指導員、健康管理能力検定1級

○日本調理師会、日本食育指導員講師

○文部科学大臣表彰、日本女子栄養大学最優秀賞

○「あそびの達人・まなびの達人」文部科学省認承

○日本調理師会、会長表彰

○厚生労働大臣表彰、調理師制度功労

○大阪観光大学、羽衣国際大学にて「泉州の食文化」及び調理実習

○地域の公民館調理実習、幼保小食育講演等



2023年2月に中央公民館で講習された「みそ汁の作り方」では、かつおと昆布からお出汁をとるところから始まり「できるだけ天然の物を使って身体にいいものを食べましょう」というお話をうかがい、お土産には、和風みそ玉、長生きみそ玉をいただきました。

また、47都道府県の次世代に伝えたい大切な味「うちの郷土料理」の大阪編の監修もされました。
(取材: 小木曾、黒木)

『熊沢友雄日記』

～岸和田藩士の暮らしをたどる～



嘉永五年(1852)から明治二十八年(1895)までの間記述された『熊沢友雄日記』。このページでは岸和田まつり関連の日記を抜粋しご紹介していきます。

※月日は新暦

明治十三年 (1880)

九月十五日 今日十五日氏神祭礼なるにより前日より壇尻を諸町より出し、祭日当日には殊に賑ふたるの由、本年は諸々に①新調の壇尻多く、其数凡十八、九計出たるの趣自分宅来客は、②戸主他所に於て病卧せるにより、来人殊に多からさりし由三ツ松岡田利通・子二人、間下子売人、上松忠右衛門の千太、奥右衛門、撰州木津米五夫婦、③鹿末の料理にて酒販を出し相済みたるよし

①明治13年 新調だんじり

- ・筋海町→熊取小垣内
- ・宮本町→和泉市小田→尾生→南上町→堺市原田
- ・上町→板原→大沢→春木本町→堺市菱木白木

②大阪市内で病氣療養

大坂病院長・高橋正純診断→精神の養生

③仕出し屋



明治十五年 (1882)

九月二十四日 岸城神社祭典に付午前十時過より参拝社殿にて暫奉楽あり神饌式終り祠官(しかん)邸にて直会を拝食す午後三時過相済本年は④悪疫流行により壇尻を禁せられ、且雨天等にて来客無之午後五時頃より群書記藤村・野中・塩見の三人を招き…本日氏神両者へ鏡餅一重宛献供す但米六升、翌日に到其一個を神官より差越候に付、家族十ラビニ近所へ配分す (旧8月13日)

十月十七日 昨日、今日為自順気(じゅんき)歡氏神に於いて⑤臨時祭を執行し、町村より壇尻を出す自然田(じねんだ)よりお鹿、六弥を伴ひ昨日より来る本日は聊(いささか)酒肴の準備をなし置くの処、村落より清見村西右衛門、馬場村茂作、三ツ松村新右衛門後家おます娘同道にて夫々(それぞれ)来る夜に入町々壇尻無別状挽返れり

④コレラ蔓延

⑤祭礼を延期

明治12年(1879年)に続き、明治15年(1882年)にもコレラが大流行しています。世界的流行の波に巻き込まれた1882年に始まり、明治に入ってから2、3年間隔で多くの患者を出す流行が続いていたようです。神仏に収束を祈りたい時に祭礼の延期…。近年の新型コロナウイルスの時と同様、無念でもどかしかったことでしょうか。明治13年(1880年)にだんじりの新調が多かったのは、そんな思いを払拭したい気持ちもあったのかなと、想像しました。臨時祭としてだんじりを出した時の嬉しさは、格別だったのではないのでしょうか。

Cultural Hot Spot In Kishiwada

岸和田の文化ホット情報

岸和田七宮詣
岸和田の神社を訪ねる ⑦

土生神社



土生神社の創健伝承としては、平安後期の寛治4年(1090年)白河上皇が熊野御幸の帰途に、村民が産土神として仰いでいる意賀美神社が遠いので、新たに鎮守の神を祀ることを願いでたところ、北野天満宮の分霊と菅原道真公の真筆の法華経一卷を得、同年社殿ができたといわれていますが「和泉国神名帳」に「従五位下土生社」とあるので、実際の創建はもっと古いと思われます。

土生神社には、江戸時代の年号が刻まれた手水鉢(1667年)や一の鳥居・二の鳥居(1757年)、本殿前灯籠(1807年)、一の鳥居前の狛犬(1832年)、高籠(たかおかみ)神社前の狛犬(1849年)、百度石(1862年)があり、本殿前にある神門は明治41年(1908年)に山下八幡を合祀されたとき移築したもので、江戸時代に作られたものだそうです。



神門



祓戸神社

本殿の左には祓戸神社があり、まずはこちらでお参りしてから本殿にお参りするそうです。



本殿



稲荷神社 祭神 保食神



巖島神社 祭神 市杵島姫命



阪井宮司が土生神社に就任して15年目の年、それを記念して六覺千手さんが描かれた土生鼓踊りの絵馬が奉納されました。土生鼓踊りは、雨乞い、雨喜びの踊りとして8月のお盆に踊られます。岸和田市の無形文化財に指定さ

れ、以前は土生神社内で行われていましたが、現在は東岸和田駅前の広場で開催されていて、誰でも参加することができます。20周年の今年は、ウクライナ避難民の画家に絵馬を描いていただく予定だそうです。

昭和49年には、社叢(境内森)が岸和田市の天然記念物になりました。「ミミズバイ」という照葉樹林を構成する樹木が宅地に多くみられるのは珍しいのだそうです。ご神木は、クロガネモチとクスノキが仲良く並んだものです。

大正4年に本殿が改築された際、それまで北、南、新田の小型だんじりが3台あったのを、下野町より購入して1台に統一しました。昭和31年に土生町のだんじりを新調するにあたり、境内にだんじり小屋を移し裏参道と鳥居が設けられたそうです。



ご神木



社務所では、全国でも珍しい「独居御守」「介護御守」和泉式部にちなんだ「恋御守」などを授与しています。土生神社の近くには、和泉式部ゆかりの式部瀧や庚申塚、齒神さん、畑遺跡、寺院など多くの見どころがあります。

境内の末社、巖島神社には源俊頼の頭痛を治したという話も伝わっており、多くの都人が行き来したであろう熊野街道らしい逸話が残されているようです。土生神社でいただける「ふるさと歴史まち歩きマップ」を片手に歩いてみてはいかがでしょうか。

御朱印

(取材：小木曾、小末)

<御祭神> 菅原道真

<配祀>

武甕槌神(たけみかづち)、経津主神(ふつぬし)、天児屋根命(あめのこやね)、比咩大神(ひめおおかみ)の4神は春日大社
品陀別命(八幡神社)

<境内神社>

天照皇大神社(神明神社)、神武天皇社(肇国神社)、熊野神社、高籠神社、巖島神社、牛神神社、稲荷神社

土生神社

岸和田市土生町7丁目8-15 072-426-7287

泉州の 近代建築

vol.1

岸和田が誇る歴史。寺社仏閣や城下町はもちろん、趣ある近代建築も忘れてはなりません。その魅力や特徴を、大阪府ヘリテージマネージャーの山岡邦章氏にご紹介いただきます。

自泉会館 編

大阪府ヘリテージマネージャー 山岡 邦章

岸和田の近代建築を採りあげて執筆をという依頼を受けた。私自身は、近代建築が専門ではなく建築史も専攻していない。しかし大阪府のヘリテージマネージャーであり、近代建築はそれなりに見てきたつもりである。

しかしこれは悩ましい注文だ。岸和田の近代建築と言ってもなかなか難しい。近代和風の流れ、洋式の建築物の流れ、ひとくりにできない内容である。

その中で、渡辺節（わたなべせつ）を中心に取り上げてみたい。泉州で渡辺節と言えば、自泉会館である。ちょうどこの自泉会館が建築されたころ、渡辺節がたずさわった建物が3つある。兄弟のような3館と呼んでよいものだと思う。

ひとつは大阪の「綿業会館」。これは国指定重要文化財であり「大大阪」と呼ばれたころの紡績業が織り成した、超豪華建築である。この時期の渡辺節の代表作と言ってよい。圧倒的な贅を尽くした建築は、訪れるたびにため息が出る重厚感と豪華さである。

もう一つは神戸の「乾邸」である。こちらも国指定重要文化財になって時折公開される。商船会社所有者の邸宅であり、その立地からいわゆる「阪神間モダニズム」と呼ばれるモダニズム建築、華美そして豪奢と形容すべき建築である。

そしてもう一つが自泉会館である。しかし相対的に自泉会館の評価は低いものがある。これは、綿業会館の度肝を抜く豪華さ、乾邸の洗練された華麗さからみると、自泉会館は小ぶりで簡素なためであろうか。また戦時中の金属供出を受け、この時期の渡辺節を代表する“アイアンワーク”が他の2館に比べ、ほとんど残っていないのも、あっさりした印象を受け、評価が低くなる要因のひとつであろう。

しかしである。自泉会館のあっさりした印象は、この時期の泉州の近代建築の中で特に洋風のものに通底する「南欧風」の要素が強いのである。綿業会館、乾邸と部品や意匠は渡辺節なのだが、それらと違う、地域色を持つ建物なのである。とくに同じ財閥系の乾邸などは、阪神間モダニズムの流れの中にあり、天井のレリーフなどにも洗練された美しさがある。対して自泉会館は泉州に通底する南欧風のレリーフが施される。そもそも目指すところが違うのである。地域の違いを比較してその華美差から低く見るのは間違いというものであろう。

自泉会館は、戦時中の金属供出で美しい金属製の扉や手すりを取り去られた。このことも低評価のひとつとなっている。しかしこの事実もこの建物が辿った歴史なのである。例えば乾汽船の社主の邸宅では、おそらく当時の情勢への“配慮”から金属供出が行われていない。紡績業を主としていた泉州の財閥邸宅では供出が行われた。こういった背景を今もそのまま示す自泉会館の現状が、近代日本が辿った「歴史」を体現しているのである。3館を比較することで見えてくる自泉会館の価値であろう。





岸和田の子どもたちに生の 舞台鑑賞を

近藤 初代

♪そこにはまだ歌がない。そこにはまだ僕たちの声は響かない。乾いた体育館、そこにはまだ言葉がない。大きな声で叫んでも何も聞こえない。夜の体育館、歌も舞台もバスにつめこんで旅を続ける僕たち。運び続けるどこまでも。一日だけのオペラハウス♪

オペラシアターこんにゃく座はこのテーマソングのように、全国の小、中、高校や劇場へと50年以上旅公演を続けています。

舞台は、関わる人の熱い思いをより感じる事ができ、大好きです。

私は、こんにゃく座のオペラ塾、和歌山演劇大学、そして岸和田の三館合同事業だった朗読劇などに演者として参加してきました。その経験から、長い時間をかけてそれぞれの分野の専門性をひとつにして作り上げる生の舞台の素晴らしさを教えてもらいました。

演者だけではなく、見えない裏方も舞台の大切な役割を担っています。そんな奥深いところも含めて、舞台の持つ魅力を子どもたちに伝えたいです。

岸和田に住むすべての子どもに芸術鑑賞の機会があるようにと、願ってやみません。その一助になればと思います。



写真中央は、歌役者の吉田進也さん
9月公演「浮かれのひょう六機織唄」に出演予定

はじめてのオケピアノ ～気づき～

自泉アーティストバンク 田口 菜穂



コロナ禍を経た今、世の中が以前の生活を取り戻してきていると感じます。音楽も例外ではなく、演奏会やコンクールなどが予定通り行われるようになってきました。

そんな中で感じるのは、生の音楽は人の心を動かすということ。それは観客の心だけではない気がついたのは、恥ずかしながら最近のことです。

昨年、岸和田文化事業協会より音楽劇「桃と赤鬼」のオーケストラピアノの依頼をいただきました。初めてのオケピアノ、不慣れながらも稽古を重ねる中でたくさん学びがありました。

いよいよ2月の本番、練習ではなかったキャストのアドリブの数々に客席から何度も笑い声が。その反応に応えるように音楽が盛り上がり、大盛況で幕を閉じました。

あの舞台はキャストやオーケストラだけで作り上げたのではなく、観客を含めあの場にいた全ての人で作り上げていた—そう強く感じ、会場全体に一体感が生まれた感覚は今でも忘れられません。

“生の音楽は、観客だけではなく演奏家の心をも動かし、それが呼応し合って最高の舞台が出来上がる”

演奏家としてそれに気がついたこと、経験できたことを財産にし、これからの音楽人生を歩んでいきたいです。

*岸和田文化事業協会は、自泉アーティストバンクをとおして若い芸術家を応援しています。

協会主催の事業にご来場いただき、有難うございました。アンケートにご協力頂いた方の感想を紹介させていただきます。

新年を寿ぐ 舞と芝居のお話

日時:令和5年1月29日(日) 午後2時開演

会場:杉江能楽堂

入場者数:104人



〈皆さんの声〉

- ◆鑑賞だけでなくワークショップやお話もあり、盛りだくさんで大変楽しませていただきました。
- ◆趣のある能楽堂で日本の伝統芸能の一つに触れることができ、とても楽しかったです。
- ◆もっと若い方にも能楽堂に足を運んでいただければと思います。

時代を楽しむ音楽会 近現代編

日時:令和5年2月17日(金) 午後7時開演

会場:岸和田市立自泉会館ホール

入場者数:28人

〈皆さんの声〉

- ◆いろいろな楽器の素晴らしい音色に酔いしれました。
- ◆解説があるとわかりやすく、より演奏を楽しむことができました。
- ◆息ピッタリの演奏でとても素敵な時間を過ごしました。



わくわくコンサート

～フルーツ&ピアノで春いっぱい～

日時:令和5年3月5日(日) 午後2時開演

会場:岸和田市立自泉会館ホール

入場者数:44人

〈皆さんの声〉

- ◆子どもは自由に動きすぎましたが、あたたかく見守っていただき素敵な演奏を聴くことができました。
- ◆フルーツと絵本の読み聞かせは、子どもたちがひきつけられて良く見ていました。
- ◆子どもがのびのびと過ごせて、とても良い時間でした。



岸和田文化事業協会20周年記念事業 音楽劇「桃と赤鬼」

日時:令和5年2月5日(日)

①子どもバージョン:午後1時開演

②大人バージョン:午後5時開演

会場:岸和田市立自泉会館ホール

入場者数:①47人 ②48人



第14回フレッシュプレミアムコンサート 未来へ～ここから～

日時:令和5年3月12日(日) 午後2時開演

会場:岸和田市立文化会館(マドカホール)

入場者数:78人

〈皆さんの声〉

- ◆ピアノの音色が一人一人違っていることに驚かされます。個性がそれぞれ光る素敵な演奏でした。
- ◆駅から意外と遠い会場でしたが、会場内の雰囲気や音響効果も良くて遠くから来た甲斐がありました。
- ◆心潤うひとときでした。



お願い 岸和田文化事業協会でも取り上げてみてはどうかと思われるコンサートや展示会がございましたら、ぜひ事務所まで案を届けてください。今後の参考にさせていただきます。

お知らせ

会員の方は8面に文化情報を掲載することができます。掲載希望の方は事務所までお越しいただき用紙にご記入ください。多数希望の方がいらっしゃる場合や当協会主催の事業がたくさんある場合はご希望に添えないこともあります。ご了承ください。

※自泉会館をご利用の際は、手指の消毒、マスクの着用等、新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください。

〈皆さんの声〉

- ① 地域の子供たちが文化を体験できる機会、最高です。
 - ◆気持ちが豊かになり、嫌なことを忘れさせてくれるほど気持ちが良かったです。
 - ◆子どもたちにこのような機会を頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。
- ② 岸和田ブランドの音楽劇、大変良かったです。
 - ◆舞台が工夫されていて、間近に演技者の所作が見られ声も聴くことができ、とても感激しました。
 - ◆初演もこの会場で観ました。その時の感動がよみがえりました。

●令和5年度 定時総会開催

令和5年度定時総会を下記の要領で開催いたします。

- 日 時:令和5年5月20日(土) 午後1時より
 会 場:岸和田市立自泉会館ホール
 内 容:①令和4年度事業・決算報告
 ②令和5年度事業計画・予算案審議

●第71回自泉フレッシュコンサート

- 日 時:令和5年6月25日(日) 午後2時開演
 会 場:岸和田市立自泉会館ホール
 出演者:大江 留菜(ソプラノ)
 中塚 沙貴(ソプラノ)
 山田 詩織(ピアノ)
 福岡 昂大(ヴァイオリン)・福岡 拓歩(ピアノ)
 チケット:会員前売1,000円(当日200円増)
 一般前売1,200円(当日200円増)
 定 員:100名

●第12回自泉ジュニアコンサート
 出演者を募集します。

- ◆オーディション日時:令和5年7月22日(土)午後2時開始
- ◆コンサート日時:令和5年8月20日(日)午後2時開演
- ◆会場:岸和田市立自泉会館ホール
- ◆募集内容
 ピアノ・声楽・弦楽器・木管楽器演奏に限る。
 小学生～高校生対象
 参加費は2,000円
 ※詳細については、チラシまたは岸和田文化事業協会のホームページをご覧ください。
- ◆申込み・問い合わせ先 岸和田文化事業協会
 〒596-0073 岸和田市岸城町5-10 岸和田市立自泉会館
 TEL/FAX 072-437-3801
 E-mail fontaine@sensyu.ne.jp

●～サクソをもっと楽しく～

『ハギーさんの魔法のレッスン』

- 日 時:令和5年7月1日(土)
 ①サクソ奏者向け公開レッスン
 午後4時～5時15分
 ②萩原隆サクソコンサート
 午後6時開演

- 会 場:岸和田市立自泉会館ホール
 出演者:萩原 隆(サクソ)
 名倉 学(ピアノ)
 内 容:①サクソ奏者向け公開レッスン
 ・レッスン一般募集4名まで 参加費3,000円
 ・聴講者一般募集10名まで 参加費1,000円
 ②萩原隆サクソコンサート
 ・チケット:2,000円(当日500円増)
 ・定 員:80名

■チケット販売場所

岸和田市立自泉会館事務所

■申し込み・問い合わせ

岸和田文化事業協会事務局まで
 〒596-0073 岸和田市岸城町 5-10 岸和田市立自泉会館
 TEL/FAX 072-437-3801
 E-mail fontaine@sensyu.ne.jp

文化情報

第74回岸和田市市展への作品を募集します
 自作未発表のものに限ります

- ・資 格 平成20年4月1日以前に生まれた方。
- ・作品規格、搬入出日 表のとおり
- ・搬入時間 午後1時～午後7時 ・搬出時間 午後4時～午後7時
- ・出 品 料 500円
- ・搬入場所 マドカホール展示場(荒木町1丁目17番1号)

※壁面展示する作品は、吊るせる状態で出品してください。
 ※詳しくはマドカホール配布、又はマドカホールホームページ掲載の作品募集要領をご覧ください。

会期	部門	体 裁	大 小 寸	出品点数	搬入日	搬出日
1期	洋画	額装 (ガラス不可)	10号～50号(53.0cm×～116.7cm×)	1点	5/9(火)	5/21(日)
			版画は自由		5/10(水)	
2期	写真	パネル張り・額装 (ガラス・アクリル等不可)	写真サイズがA3以上で、仕上がり寸法が 100cm×80cm以内 (原写真の場合は、1つのパネルや額装の中 に配置し、その仕上がり寸法が100cm×80cm以内)	1点	5/23(火)	6/4(日)
			30cm×20cm以内 又は 30cm×100cm以内		5/24(水)	
3期	書	額装・軸装・裱装・衝立 屏風・帖・巻物・刻字・篆刻	仕上がり寸法(縦横自由) 30cm×20cm以内 又は 30cm×100cm以内	1点	6/6(火)	6/18(日)
			自由		6/7(水)	
4期	日本画	額装 (ガラス・アクリル不可)	10号～60号(53cm×～130.3cm×)	1点	6/20(火)	7/2(日)
			※落款のある作品は、原則受付できません		6/21(水)	
4期	陶芸 俳画	装飾的付属品は不可(圓立て、ランプ等) 額装・軸装	自由	2点以内	6/20(火)	7/2(日)
			6号色紙大(61cm×31.7cm)以上	2点以内	6/21(水)	

問合せ先:マドカホール
 電話:072-443-3800(9時～17時) 休館日:日曜日・4/29・5/3～5/5

令和5年度(2023年度)(2023年4月～2024年3月)

会員募集

年会費 個人会員(1口) 2,000円 団体会員(1口) 5,000円
 家族会員(1口) 1,000円 法人会員(1口) 10,000円
 (個人会員の同居家族) 特別会員(1口) 50,000円

入会方法 協会事務局(自泉会館)で直接受付致します。
 郵便振込の場合は 口座番号 00970—9—28145
 加入者名 岸和田文化事業協会

詳しくは、岸和田文化事業協会事務局まで
 TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp



vol.78

発行:岸和田文化事業協会

発行日:2023年4月25日

- ◆事務局
 〒596-0073
 岸和田市岸城町5-10 岸和田市立自泉会館内
 TEL/FAX 072-437-3801
 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp
- ◆編集委員 小末もとえ・近江和代・小木曾由季
 片山智信・黒木幸子・阪井正明

編集後記...

劇場やコンサート会場、美術館などにたくさんの観客が戻って
 きました。コロナ禍を越えて触れる音楽や演劇、様々な文
 化は待ち兼ねていた気持ちの分だけ、より大きな感動を味わ
 えそうですね。(小末)

https://jisen.jp

岸和田文化事業協会

検索

